

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	プロジェクト実習 2	
科目基礎情報					
開設学科	W e bクリエイター科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	120時間
単位数	4単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	藤田 祐子／杉山 賢人		実務経験の有無・職種	有・W e bデザイナー／グラフィックデザイナー	
学習目的					
地域連携課題を通してクライアントの抱えている問題や課題を能動的に発見し、デザインによって解決していくこと。「解決型デザイン提案」という行為を調査～ヒアリング～企画～デザイン～提案という一連の流れの中で体感し、社会とデザインの関わりを体感することがねらいである。また、デザイン制作において、提案→制作→発展→問題解決の道程より具体的に一連の制作プロセスを明確にするのがねらいである。					
到達目標					
昨今のデザイナーとして必要スキルと言われるコミュニケーション力は、傾聴力や対話力、発言力のみならず事前調査や対象への好奇心も含まれる。本授業では、コミュニケーション力を実践課題の中で高め、その中で自身の気づきを元にしたデザイン企画案を提案することが目標である。また、制作作業を第三者に明確にすることも目標である。					
教育方法等					
授業概要	学校外で実際に使用されることを前提とし課題に取り組む。個人的な作業およびグループでの作業の両方を行い、自分以外の製作者とのコミュニケーションが必要となる。そのため、それぞれが自律した社会に進出しても問題なく働くことができるデザイナー/クリエイターとしての認識を持ち、「デザインの発案、制作相談、クライアントとのコミュニケーション、発表」の流れで評価を行う。この授業では、いかに自分以外の人にプロジェクトの相談、意見交換をし円滑なコミュニケーションを行え制作に反映できることを目指す。				
注意点	より良い制作を行うために、学生間と教員がコミュニケーションをとり制作の進捗を報告することを受講マナーとして求める。また、制作物を概論する企画書の制作を求める。授業の出席だけでなく、各自授業外での制作を行い、問題解決への努力を重視する。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題完成度	50%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	10%	制作準備を評価する		
	制作プロセス	20%	制作過程で適切な流れをで制作できているかを評価する		
	プレゼン	10%	制作物の発表方法を評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	授業説明		この授業の目的、概要、注意点を理解し制作へ向かう姿勢を作ることができる		
2回	制作プランニング		制作物の企画提案をし企画書を作成することができる		
3回	デザイン制作		ラフ案を作成し制作物完成へ道筋をたてることができる		
4回	デザイン制作		デザインカンプを作成し、検証、修正、提出ができる		
5回	デザイン制作		制作物をブラッシュアップさせ完成度を上げることができる		
6回	デザイン制作		制作物の問題点を挙げ修正し、発展させることができる		
7回	デザイン制作		制作物を第三者へ見せ説明する準備を行い、提出準備をすることができる		
8回	制作物中間発表		教員に一度制作物を提出し、ここまでの制作状態を説明することができる		
9回	デザイン制作		制作物の問題点、修正点を理解し制作物をブラッシュアップさせることができる		
10回	デザイン制作		制作の目的と問題解決を理解し、さらに制作物の完成度を上げることができる		
11回	デザイン制作		制作物を俯瞰し情報を整理し、制作物を第三者視点で評価することができる		
12回	デザイン制作		第三者の意見を聞き制作物に対するコミュニケーションを図ることができる		
13回	プレゼンテーション準備		プレゼンテーション向け準備をし発表方法を組み立てることができる		
14回	プレゼンテーション準備		プレゼンテーション向け準備をし制作物の最高の方法で提案することができる		
15回	プレゼンテーション		制作物を完成提出、発表説明することができる		